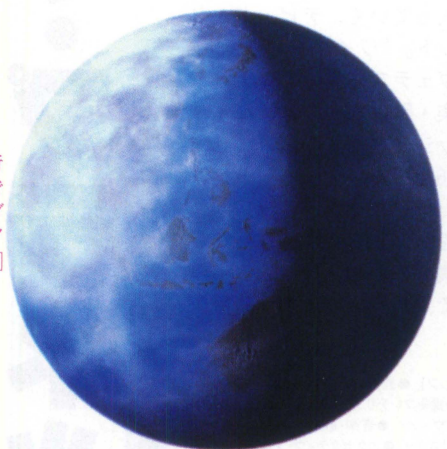




サナイト・オニ プラットフォーム

LA発、ヘルシンキ行
地球の夜の十字路で
5都市同時のタクシードライブ
"活気最高、ジャムツシュの傑作!"
[ニューヨーク・タイムズ]

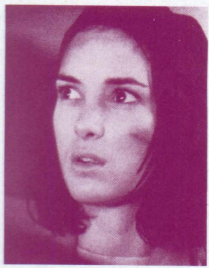


NIGHT ON EARTH

ジム・ジャムツシュ監督・脚本作品

ウィノナライター、ジーナ・ローランズ、アーミン・ミュラー・スタール、ジャンカルロ・エスポジト、ロージー・ベレス、イザード・パンコレ、ベアトリス・ダル、ロベルト・ペニーニ、パオロ・ボナチエリ、マッティ・ベロンパー、カリヴァー・ナネン、サカリ・オスマネン、トミ・サルメラ ● 撮影フレデリック・エルムス / 編集ジェイ・ラビノウィッツ / 音楽、歌トム・ウェイツ / 作詞作曲トム・ウェイツ & キャサリン・ブレナン / サントラ盤・ポリスター・レコード / エグゼクティブ・プロデューサー・ジム・スターク / コー・プロデューサー・ティム・ラトル、J・マクブライド / ライン・プロデューサー・ラッド・シモンズ / コー・エグゼクティブ・プロデューサー・蕭部政弘、高山登 / 制作・LOCUS SOLUS, INC. ● 製作・日本ビクター株式会社、ビクター音楽産業株式会社 / 製作協力・PYRAMIDE, LE STUDIO CANAL PLUS, PANDORA FILM, CHANNEL 4 / アメリカ映画 (英語、フランス語、イタリア語、フランス映画社配給フィンランド語)   © LOCUS SOLUS, INC., 1991  パウ・シリーズ作品





ウィノナ・ライダー

ロサンゼルス、ニューヨーク、パリ、ローマ、ヘルシンキ。

地球という星の、5つの都市の5人のタクシー・ドライバーが、同じ夜、5つの物語で展開する「ナイト・オン・ザ・プラネット」は、ジム・ジャームツッシュ監督の最新作

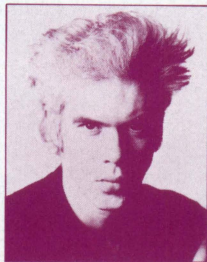
で長編第5作。91年10月のニューヨーク映画祭で世界プレミアを飾り、ファンシーな魅力とポエジーにあふれ、誰でも大いに笑い楽しめる作品として人気を博ただけでなく、ニューヨーク・タイムズ紙の批評家ヴィンセント・キャンビーは「ジャームツッシュの創作活力が最高に達した傑作、無類のおかしさに満ちていながら初期作品以来のかなしい荒涼感も強まっている」と絶賛し、フィルム・コメント誌は「ダウンタイム（機能停止のシチュエーション）を描くことにかけて、ジャームツッシュはアメリカ映画で最初の偉大な監督」と異例の賛辞を呈している。

「パーマネント・バケーション」(80)「ストレンジャー・ザン・パラダイス」(84)「ダウン・バイ・ロー」(86)「ミステリー・トレイン」(89)と積み重ねてきた実験と挑戦の展開が随所に見られ、そんな集積がのびやかに飛翔した、ジャームツッシュの新時代を感じさせる作品だ。オープニングから鮮やかに、トム・ウェイツの歌〈バック・イン・ザ・グッド・オールド・ワールド〉とともに宇宙から地球に接近し、5つの都市に入っていく。デビッド・リンチの「ブルー・ベルベット」「ワイルド・アット・ハート」やジョン・カサヴェテス作品のフレデリック・エルムスが撮影。音楽・歌は「ダウン・バイ・ロー」出演以来ジャームツッシュ映画おなじみのトム・ウェイツのオリジナル曲16曲。「ミステリー・トレイン」に続くJVC(日本ビクター、ビクター音産)製作で、ジャームツッシュ映画を2作連続して製作したことが世界の注目と好感を集めている。20°CのL.A.から-30°Cのヘルシンキまで、5都市にまたがる撮影は、全編オール・ロケ。



ベアトリス・ダル

【スタッフ】●監督・脚本・製作ジム・ジャームツッシュ ●撮影フレデリック・エルムス ●編集ジェイ・ラビノヴィッツ ●音楽・歌トム・ウェイツ(サントラ盤ポリスター) ●エグゼクティブ・プロデューサー・ジム・スターク ●コー・プロデューサー・ティム・ラ・J・マクブライド ●ライン・プロデューサー・ラッド・シモンズ ●コー・エグゼクティブ・プロデューサー・斎藤政弘、高山登 ●制作LOCUS SOLUS, INC. 【キャスト】ウィノナ・ライダー(L.A.の運転手コーキ)、ジーナ・ローランズ(ウィクトリア)、アーミン・ミュラー＝スタール(N.Y.の運転手ヘルムート)、ジャンカルロ・エスポジト(ヨーヨー)、ロージ



「ジム・ジャームツッシュ監督・脚本作品」

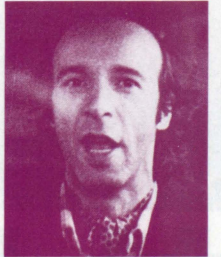
ナイト・オン・ザ・プラネット

NIGHT ON EARTH
フランス映画社配給
BOW バウ・シリーズ作品

5人のタクシー・ドライバーは、夕方7時すぎのL.A.が、ジャームツッシュ映画に出るのが夢だった、「シザーハンズ」他で若手No.1の人気と実力のウィノナ・ライダー。「ジムは地球上最高の監督」と言うウィノナだが、カサヴェテス映画のヒロインの名女優、ジーナ・ローランズ演じるハリウッドの大物キャスティング・エージェントに一瞬の夢を抱かせながら、シンデレラになるチャンスをあっさり断わる運転手コーキー役を好演する。凍える夜10時すぎのニューヨークは、旧東ドイツ出身の名優アーミン・ミュラー＝スタール(「わが心のボルチモア」)。「ドゥ・ザ・ライト・シング」でおなじみの、ジャンカルロ・エスポジトとロージー・ペレスを相手にストレンジャーぶりを発揮する。午前4時のパリの運転手は「シヨコラ」のイザーク・ド・バンコレ。アフリカ人乗客にいじられた後、美しい盲人の客ベアトリス・ダルを乗せ、彼女の魅力のとりこになる。ベアトリス・ダルも念願かなってのジャームツッシュ映画初出演。同じく午前4時のローマの運転手は「ダウン・バイ・ロー」のロベルト・ベニーニ。舞台の名優パオロ・ボナチェリ神父に性体験を懺悔して神父は死んでしまう。雪のヘルシンキ午前5時の運転手ミカ役マッティ・ペロンパーは、乗客の労働者ふたりヴァーナネン、クオスマネンとともにジャームツッシュの親友であるカウリスマキ監督兄弟(ミカとアキ)作品の常連。不幸が一度に重なって泥酔している3人目の労働者アキは、せつせつと心をつつ、ミカのさらに不幸な話を眠っていて知らない。自分の家の前で起こされ、ここがわかるかと聞かれて、ああ、ヘルシンキだろう?と、異星人のように呟いて全編をしめくくるアキ役はトミ・サルメラ。L.A.の爽快な、N.Y.のストレンジな、パリの詩的で残酷な、ローマの荒々しく滑稽な、ヘルシンキのせつせつとせまる、このおかしさの極致はジャームツッシュならではの、必見の名人芸だ。

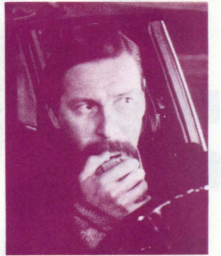


ジーナ・ローランズ



ロベルト・ベニーニ

ー・ペレス(アンジェラ)、イザーク・ド・バンコレ(パリの運転手)、ベアトリス・ダル(パリの乗客)、ロベルト・ベニーニ(ローマの運転手)、パオロ・ボナチェリ(神父)、マッティ・ペロンパー(ヘルシンキの運転手ミカ)、カリ・ヴァーナネン、サカリ・クオスマネン、トミ・サルメラ(アキ)
●1991年アメリカ映画/製作日本ビクター、ビクター音産/カラ、1x 1.85、ドルビー・ステレオ/2時間9分、全7巻、3534m / 日本語字幕戸田奈津子 / 宣伝デザイン小笠原正勝 / © LOCUS SOLUS, INC., 1991
《TOM WAITS酔いどれ天使の唄》大衆出版刊



マッティ・ペロンパー

4月中旬より GWロードショー

シャンテシネ 2

日比谷・東宝映画街 03(3591)1511

特別鑑賞券1400円 好評発売中

(当日一般1700円の処)

●上映時間

平日	11:40	2:15	4:50	7:25	
日・祝	9:10	11:40	2:15	4:50	7:25

劇場窓口、都内各プレイガイド、チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、大学生協 他。
●グループ鑑賞のお申込は株マイジャー(3541)2508へ。